

# 放射能関係のお知らせ

2017年4月2回(C週)

お届け日:2017/4/10~4/14

発行日:2017/3/27

pal\*system  
生協 パルシステム

本誌は、カタログ掲載の青果について、2017/3/23(木)午前中までの放射能自主検査の結果をお伝えしています。

## ●青果 放射能が検出されていない産地(セシウム 134,137 それぞれ 3Bq/kg 以下)

分類	品目名	放射能検査の状況	
果実	甘夏	品目で検査済	小田原
		柑橘類で検査	南伊豆
いちご		品目で検査済	たまつくり・どちのみ・はが野・うつのみや・海上・佐原・遠州
キウイ	品目で検査済	小田原	
清見オレンジ	品目で検査済	小田原	
	柑橘類で検査	南伊豆	
ゴールデンオレンジ	品目で検査済	小田原	
	柑橘類で検査	久望	
りんご	品目で検査済	八峰園・ゴールド農園	
青大豆	品目で検査済	花咲	
きゅうり	品目で検査済	みちのく野菜・八千代・野菜くらぶ・邑楽館林・村悟空・サンド旭・佐原・和郷	
		果菜類で検査済	谷田部・沃土
	検査予定	たまつくり	
スナップえんどう	品目で検査済	南伊豆	
ズッキーニ	果菜類で検査済	沃土	
トマト	品目で検査済	谷田部・葉菜野果・うつのみや・野菜くらぶ・沃土	
	果菜類で検査済	元気会・村悟空・佐原・いちかわ	
ミニトマト	品目で検査済	あゆみの会・元気会・サンド旭・和郷	
	果菜類で検査済	八千代・野菜くらぶ・沃土・村悟空	
アスパラ	品目で検査済	うつのみや	
	葉菜類で検査済	あゆみの会	
大葉	葉菜類で検査済	村悟空・和郷	
かき菜	葉菜類で検査済	夢みなみ・谷田部・野菜くらぶ・沃土	
キャベツ	品目で検査済	谷田部・たまつくり・三浦EM・遠州	
	葉菜類で検査済	八千代・常総産直・野菜くらぶ・沃土・村悟空・海上・佐原・和郷・三浦市	
	検査予定	よこすか葉山	
小松菜	品目で検査済	有機農法ギルド・葉菜野果・野菜くらぶ・群馬モグラ・沃土・南埼玉・佐原・風土の会	
	葉菜類で検査済	谷田部・たまつくり・やさと・草の会・八街	
サニーレタス	葉菜類で検査済	谷田部・八千代・有機農法ギルド・常総産直・野菜くらぶ・八街・和郷・風土の会	
チンゲン菜	品目で検査済	あゆみの会・佐原	
	葉菜類で検査済	葉菜野果・沃土・八街・和郷・遠州	
にら	品目で検査済	元気会	
	葉菜類で検査済	葉菜野果・野菜くらぶ・和郷	
ねぎ	品目で検査済	たまつくり・南埼玉・八街	
	葉菜類で検査済	谷田部・八千代・利根川・沃土・村悟空・佐原	
葉ねぎ	品目で検査済	村悟空・南伊豆	
	葉菜類で検査済	谷田部・沃土・海上・佐原・サンド旭	
白菜	葉菜類で検査済	谷田部・八千代・常総産直	
ペピーリーフ	品目で検査済	フェニクス・レインボー	
ほうれん草	品目で検査済	常総産直・草の会・沃土	
	葉菜類で検査済	谷田部・八千代・有機農法ギルド・たまつくり・利根川・野菜くらぶ・佐原・八街・和郷・風土の会	

分類	品目名	放射能検査の状況	
葉菜	みず菜	葉菜類で検査済	谷田部・葉菜野果・沃土・佐原
	ルッコラ	葉菜類で検査済	葉菜野果・沃土・南埼玉・和郷
	レタス	品目で検査済	野菜くらぶ・サンド旭・和郷
		葉菜類で検査済	谷田部・八千代・常総産直・やさと・沃土・南埼玉・海上・佐原・八街・風土の会
	若芽ひじき	品目で検査済	寺島
根菜	かぶ	品目で検査済	谷田部・沃土・佐原・八街
		根菜類で検査済	八千代・風土の会
		検査予定	たまつくり
	しょうが	根菜類で検査済	和郷
	大根	品目で検査済	谷田部・海上・佐原・和郷
		根菜類で検査済	八千代・葉菜野果・沃土・村悟空・八街・風土の会
		検査予定	たまつくり
	にんにく	品目で検査済	八峰園・田子

## ●2016年産米の検査

検査対象の産直産地のお米の検査を玄米で行い、検査は全産地終了しました。

2016年産の下記の産地・銘柄は、すべて不検出です。

青森県:JA津軽みらいの青森つがるロマン

岩手県:JAいわて花巻の岩手ひとめぼれ、JA新しいわての岩手いわてっこ

宮城県:JAみどりの宮城ひとめぼれ

秋田県:JAこまちの秋田あきたこまち・オーリア21の秋田あきたこまち・花咲農園の秋田あきたこまち・JA秋田ふるさとの秋田あきたこまち、JAかづの秋田淡雪こまち

山形県:JA庄内たがわの山形はえぬき、JA山形おきたまの山形ササニシキ、庄内協同ファームの山形つや姫

福島県:JA会津よつばの会津こしひかり

新潟県:JA北蒲みなみの新潟こしひかり・JAささかみの新潟こしいぶき・JAいがた南蒲の新潟こしひかり・JA魚沼みなみの魚沼こしひかり・JAえちご上越の新潟こしひかり・謙信の郷の新潟こしひかり・JA佐渡の佐渡こしひかり

茨城県:JAつくば市谷田部の茨城こしひかり

栃木県:日本の稻作を守る会の栃木こしひかり(19検体)

中17検体不検出 2検体は白米で検査を行い不検出

千葉県:JA君津市の千葉ふさおとめ・ちば緑耕舎の千葉こしひかり

埼玉県:南埼玉産直ネットワークの彩のかがやき

長野県:JA佐久浅間の長野こしひかり

放射能は玄米のぬかにたまる傾向があります。玄米で検査後、供給は白米および玄米で行います。

## ●青果以外の牛乳・牛肉・卵・食肉類および加工品の対象商品はすべて検査をしています。\*酒類はみりんと料理酒を検査対象としています。

## ●青果の検査について

\*北海道を除く東日本(新潟県・長野県・静岡県以東の本州17都県)のカタログ掲載産地において、分類ごとに一品目以上検査をしています。報告の時点で検査が間に合わない品目については、供給前までには放射能検査を実施します。

\*旬のある果物などの検査は、シーズンでの収穫の時期のみになりますが、それ以外はおおよそ半年に1回以上の頻度で検査を行なっています。検査の日付は省略しています。

\*検査対象外地域でも放射能検査を実施している場合がありますが、掲載は省略しています。

\*yummyum 果物セットにセットされている果物は、検出下限値1Bq/kgで検査を行っています。

## ●青果の検査分類表

大分類	中分類	代表的な品目名
果実(くだもの)	—	みかん、りんご、いちごなど
果菜	果菜	きゅうり、トマト、なす、オクラなど
	未成熟豆類	枝豆、いんげん、スナップえんどうなど
葉菜	結球性・非結球性葉菜	アスパラ、キャベツ、白菜、ほうれん草、小松菜、ねぎなど
	花蕾・茎菜	ブロッコリーなど
根菜・いも類	根菜	玉ねぎ、人参、しょうがなど
	いも類	さつまいも、里芋など

## ●きのこ類

### 放射能が検出されていない産地(3Bq/kg 以下)

品目名	放射能検査の状況	
えのき茸	品目で検査済	飯山
エリンギ	品目で検査済	小川きのこ・南伊豆・渡辺のこ
なめこ	品目で検査済	谷田部
4種のきのこセット	品目で検査済	谷田部・雪国・丸金グレープ
まいたけ	品目で検査済	雪国
マッシュルーム	品目で検査済	村悟空・三蔵
山えのき	品目で検査済	有倉

## ●検出された商品

品目名	産地名	報告日	セシウムBq/kg
生しいたけ(原木栽培)			
徳用生しいたけ(原木栽培)			
お料理セットの生しいたけ	谷田部	2017/3/22	9.5
4種のきのこセットのしいたけ			
谷田部の原木しいたけ(はねだし)			
パルシステムの独自ガイドライン		100	
政府の基準値			100

\*3/15の検査では、「生しいたけ(原木栽培)」からの検出はありませんでした。

品目名	産地名	報告日	セシウムBq/kg
しめじ(ひらたけ)	谷田部	2016/12/14	3.0
4種のきのこセットのしめじ	谷田部	2016/12/14	3.1
ぶなしめじ	谷田部	2016/12/14	25
パルシステムの独自ガイドライン			100
政府の基準値			100

\*2017/2/22の検査では、「しめじ(ひらたけ)」および「ぶなしめじ」からの放射能の検出はありませんでした。

注文番号	商品名	報告日	セシウムBq/kg
コトコトきなり	もやしと豚肉のチャンブルーセットのしいたけ		
コトコトきなり	ひき肉と春雨のオイスターソース炒めセットのしいたけ	2017/3/1	5.5
コトコトきなり	鶏肉のチキンオローネスセットのしいたけ		
コトコトきなり	野菜たっぷりのつけごはんセットのしいたけ	2017/3/22	9.5
コトコトきなり	厚あげときのこの中華炒めセットのまいたけ水煮		
コトコトきなり	具だくさんの牛肉きんぴらセットのまいたけ水煮	2017/2/27	3.2
コトコトきなり	鶏ときのこの炊き込みご飯セットのまいたけ水煮		
	パルシステムの独自ガイドライン		100
	政府の基準値		100

注文番号	商品名	報告日	セシウムBq/kg
120粒:185540 240粒:186350	ブルーベリー＆ルテイン	2016/11/1	6.5
	パルシステムの独自ガイドライン		25
	政府の基準値		100

## 保養にでかけよう パルシステムグループでは福島のみなさんを対象に保養を実施しています

2011年3月11日から6年が過ぎ広く放射能が拡散しました。放射能を取り込んでしまったとしても、それを排出することはできますし、また体の中にあっても体の抵抗力があれば、放射線で傷ついた部分を修復する事が可能です。

そのため、放射能が体内からいかに早く排出するか、いかに効率よく修復するのかがとても重要になります。

なるべく放射線量の少ない地域に移る、放射能含有の少ない食品を食べることが排出を促進し、修復しやすい状況をつくります。

### ● 放射能の体内減少モデル。

ICRPでは、「原子力事故または放射線緊急事態後の長期汚染地域に居住する人々の防護に対する委員会勧告の適用」の中で、提示した放射能の体内からの減少する状態について、以下のような放射能減少モデルが示されています。  
[http://www.icrp.org/docs/P111\\_Japanese.pdf](http://www.icrp.org/docs/P111_Japanese.pdf)

図2.1 チェルノブイリ事故から20年後におけるチェルノブイリ周辺の汚染地域に居住する小児のセシウム摂取による典型的な線量分布

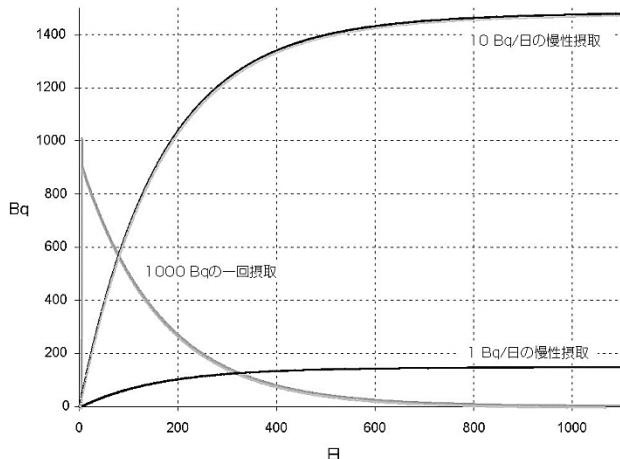


図2.2 1000 Bqの<sup>137</sup>Csを一度に摂取した場合と、毎日1Bqまたは10Bqの<sup>137</sup>Csを摂取した場合の、全身放射能(Bq)の複数年(1000日)にわたる変化

一度に大量の放射能を体内に摂取し、その後まったく摂らないと徐々に体内から放射能は減っていきますが、毎日10Bq/kgずつ摂取していくとおよそ600日(2年弱)で1400Bq/kgで一定してしまいます。また、それが1Bq/kgであれば、体内に200Bq/kgを上回らないレベルで放射能は一定します。

現在、食品中の放射能は非常に少なくなっています。身体への放射能の取り入れが少なくなっているもしくはなくなっているので、体内的放射能はどんどん減っています。

放射能で傷ついた組織や遺伝子を修復する力を人は持っていますが、外部からの放射線量が多いと身体を貫くγ線などの対応にも体内の修復作用は働くので、なるべく放射線量の少ないところに短期間でも移ることが大切です。

### ● 関東地方も保養に行こう

2016年度パルシステムでは、グループ全体で福島の組合員を中心に24の保養を企画しました。延べ人数683名の方々にご参加いただきました。また、組合員の皆様から合計1051万円余りのカンパが寄せられました。ありがとうございました。

東北から関東の一部でまだ高い放射線量が発見されることがあります。パルシステムで実施している保養は福島の皆さんのが対象ですが、それ以外の地域にお住いでも、17都県以外にでかけることは体内的修復作用を促進させるために有効です。

## 行政検査の検出情報

- 厚生労働省発表「食品中の放射性物質の検査結果について(第1023)」(2016/7/10~2017/2/24で採取・購入された検体検査)より、国が定めた基準セシウム合計100Bq/kg以上検出された検体です。

イノシシ肉:宮城県大崎市 190・210Bq/kg  
イノシシ肉:宮城県栗原市 120Bq/kg

国の定めた基準セシウム合計100Bq/kg未満で検出された上位数点です。

原木シタケ:岩手県滝沢市ほか 13~23Bq/kg

ナメコ:群馬県中之条町 22Bq/kg

ワカサギ:群馬県前橋市(赤城大沼) 34Bq/kg

ヤマドリ肉:岩手県山田町・釜石市 12~82Bq/kg

イノシシ肉:宮城県栗原市・角田市ほか 10~64Bq/kg

シカ肉:岩手県大槌町・花巻市ほか 4.4~44Bq/kg

- 福島県の緊急調査で国が定めた基準セシウム合計100Bq/kg未満で検出された上位数点です。

キツネメバル(海の魚):福島県富岡町 24Bq/kg  
パパガレイ(海の魚):福島県広野町 21Bq/kg

さまざまな理由により、自主避難を中断せざるを得ない方々の状況に対して相談を受けている「避難の協同センター」をパルシステムでは支援しています。

<http://hinan-kyodo.org/>

## 3月の放射能検査状況

3月20日までの3月の検査で、しいたけから、生しいたけ(原木栽培)が1件(10Bq/kg)、お料理セットのしいたけが2件(3.4、5.5Bq/kg)の検出がありました。乳幼児用食品は、検出下限値を4月から1Bq/kgに下げましたが、現在まですべて不検出です。検出された商品は、すべて自主基準以内の検出でした。

### 放射能検査の状況(検査件数、かっこ内は検出数、網掛けは検出された分類)

	3月	3月の検出内容		3月
青果	5(0)		卵	0(0)
しいたけ	7(3)	原木しいたけ 10Bq/kg お料理セットのしいたけ 3.4、5.5Bq/kg	魚介類	20(0)
その他のきのこ類	3(0)		飲料水・飲料	6(0)
米・米飯類	0(0)		乳幼児用食品	7(0)
牛乳・乳製品	5(0)		その他加工食品	180(0)
肉類	7(0)		合計	240(3)

### 2016年度の放射能検査の状況(2016年4月~2017年3月)

青果	2016年5月に小田原のバレンシアオレンジの3件中1件から3.2Bq/kgが検出されました。2017年2月に常総センターのれんこんで3件中1件(6.1Bq/kg)から放射能が検出されましたが、自主基準内でした。
しいたけ、他のきのこ	生しいたけが(3.1~13Bq/kg)、しめじ(ひらたけ)が(3.0~3.5Bq/kg)、ぶなしめじが(3.1Bq/kg)で、放射能が自主基準内で検出されました。他のきのこ類は放射能不検出です。
米	2016年産米の検査は26産地67検体の検査を行いました。日本の稻作を守る会の栃木こしひかり(玄米)を検査したところ、2件(3.9、4.1Bq/kg)の検出がありました。検出された産地の米は、白米で検査を行い不検出でした。 米の検査は全産地終了しました。 * 放射能はぬか部分に多く蓄積します。検出されました栃木こしひかりは、不検出が確認されました白米でのお届けとなります。
牛乳、肉、卵	産地ごとに定期的に検査し今年度放射能は検出されていません。
魚介類	魚介類で放射能は検出されていません。
乳幼児用食品	検出下限値1Bq/kgで検査を行い、すべて不検出です。
その他加工食品	<お料理セット> 肉・豆腐などは定期的に検査を行っています。野菜のみを毎月検査を別途行っています。菌草類については毎週検査を行っており、しいたけおよびしいたけ水煮(3.4~11Bq/kg)、まいたけ水煮(3.2Bq/kg)から自主基準内ですが検出しています。その他の菌草類からの検出はありません。 <大豆加工品> 豆腐、納豆、味噌、醤油など大豆加工品は、2014年産および2015年産原料で検査を行っているものと、製品で検査をおこなっているものとがありますが、放射能は検出されていません。 <その他> 2016年11月にサプリメントのブルーベリー＆ルテイン(6.5Bq/kg)から自主基準内検出がありました。

## パルシステムの放射能検査について

### ● 独自ガイドライン(自主基準)と検出限界について

パルシステムでは食品の残留放射能について独自ガイドライン(自主基準)を設定しています。放射線にはこれ以下なら安全という「しきい値」がないので、基準以下であっても、放射能低減を追求します。検査の結果、自主基準を超えるものについては供給いたしません。また、独自ガイドラインは継続的に見直しを行ないます。

自主基準(独自ガイドライン)(セシウム134,137の合計)			国規格基準
2014年10月より現行基準		現	旧
水、飲料、牛乳、乳製品、米、乳幼児用食品	10	10	水、飲料茶 10 乳児用食品、牛乳 50
青果類(きのこ類除く)、肉類、卵、魚介類、その他食品、きのこ類(しいたけ除く)	25	50	一般食品 100
しいたけ	100	100	

\* 乾燥食品は生原料や摂食状態で検査します。(単位Bq/kg)

乳幼児用食品は「yumyum」掲載商品とインターネットの赤ちゃん推奨商品。

検出限界(セシウム134,137それぞれ)		
2016年4月1日から新基準に変更		新
乳幼児用食品		1
水、飲料、牛乳、乳製品、米、青果類、肉類、卵、魚介類、その他食品		3

### ● 放射能検査の対象範囲について

農畜産物とその加工品	北海道を除く東日本産(新潟・長野・静岡以東の本州産)
水産物とその加工品	日本沿岸・近海・一部の北太平洋・淡水産水産物